



発行所 千葉県立国府台高等学校同窓会 広報委員会 千葉県市川市国府台 2-4-1 発行責任者 流川呉生(20期・会長) 印刷所 メールカスタマーセンター



祝 創立80周年

記念祝賀会開催へ！

母校千葉県立国府台高等 43年(昭和18年)に 等学校の前身である旧制 創立されました。202 市川市立中学校は、19 3年は80周年の節目と なります。 母校創立80周年にあ たり、同窓会では別掲の 同窓会としてこのよう

千葉県立国府台高等学校 創立80周年記念祝賀会

日時 2024年2月18日 日曜日 午後3時より午後5時まで (午後2時受付開始)

会場 東武ホテルレバント東京(錦糸町) 会費 10000円

申し込み

期限 2024年1月9日(火)まで 払込先 国府台高校同窓会

郵便振替 00110-0-353380

同封の払い込み用紙に

住所・氏名・会員ID(宛名シールに記載)

参加希望✓印

ご記入のうえ、郵便局にて払い込みをお願いします。

・手数料は各自のご負担をお願いします。

お早目にお申し込みください。よろしくお願いいたします。

母校に思いを寄せて

会長 流川 呉生(二十期)



川(中田)呉生です。

二十五年ほど会報の編集に携わり、会員の方々の沢山の「声」に出会いました。そして、会報は、

母校の現状、生徒の様子、同胞の動向、懐かしい友や恩師の今等を伝えること、同窓会は、伝統を守

り続ける生徒を応援し、会員の台帳を護り、会員に活用していただく事が役割だと気がきました。

今年度は、学校創立八十周年・同窓会設立七十周年の年です。コロナ禍で三年間様々な行事開催の自粛を余儀なくされておりましたが、本年六月一日に母校講堂に於いて全生徒と職員、来賓はPTA会長と同窓会会長のみ

ではありましたが、創立八十周年記念式典が肅々と開催されました。

同窓会では、来年二月に記念祝賀会開催を予定しており準備を進めています。十年に一度の大切な行事に、母校、同窓会を支えている二万数千の同窓が一堂に会し、旧交を温めるとともに母校の発展についても熱く語り合えることでしょうか。お一

《紙面から》

6・7 国府台高等学校80年の歴史

陸上競技部 インターハイ優勝

鴻陵祭であいました2023 インタビュー

現役生に訊く、復活した鴻陵祭

創立80周年記念式典

な大きな催事は十年に一度のものとなります。この機会に一堂に集い、母校の歴史と未来を讃え、盛大に祝うとともに、恩師や鴻陵生と旧交を温めましよう。

創立八十周年の創立記念日となる二〇二三年六月一日、母校体育館において千葉県立国府台高等学校創立八〇周年記念式典が挙行されました。

学校主催で在校生と現職員を対象とした式典でした。同窓会からは流川会長が来賓として招かれ出席しました。

新会長に20期流川呉生氏

二〇二三(令和五)年度定例総会

二〇二三(令和五)年五月二十二日、二〇二三年度定例総会が母校会議室において開催された。

加藤徹会長の挨拶に続き、白井武彦校長から母校の近況報告を兼ねた挨拶があった。星野茂氏(三十期)が

初の女性会長就任

議長に選出され議事に移り、まず「二〇二二年度事業報告」「二〇二二年度決算報告・監査報告」が行われ、いずれも承認された。

ここで「役員改選」が行われた。加藤会長が健康上の理由で勇退し相談役に就くことになり、新会長には流川呉生氏(二十期)が選出された。流川新会長は本会では初の女性会長となる。その他の役員・常任理事についてもそれぞれ承認・信任を受けた。新設された副理事長には富坂友氏(五十六期)が選任された。

次に「会則改正」が議題とされ異議なく承認された。副理事長の役職新設、役員・常任理事・理事の選任方法改定と、章立てと条文の一部組み替えが主な改正点となる。会則の改正に伴う「委員会規則」の一部改正についても承認された。

続いて「二〇二三年度事業案」「二〇二三年度予算案」について審議が行われ、いずれも異議なく承認された。

最後に新たに選出された役員が一言ずつ挨拶し、総会を締め括った。

【2・3面に議事詳細】

アルスの森



過去と未来

相続人のいない記憶は空虚だという。継承可能な遺産として遺されてこそ歴史や伝統として意味を持つ。

母校創立八〇周年の節目を迎え、同窓会員それぞれに歴史や伝統を思い、往時の国府台を追想することだろう。ただ、如何に鮮烈だった体験も、追想を繰り返しているだけでは後世に何も伝承されない。

一方、国府台の歴史や伝統の相続人とは、現役の諸君や将来母校の門をくぐるであろう人たちがいうことになる。学校では、長引くコロナ禍に、伝統と言っには些細な事物も含め、継承ということの困難に直面した。直接伝承が叶わないときの頼りは記録だが、残された記録というものは原因を切り捨てて結果のみを集積したものになりがちで、由来、空気感、その裏にある機微までを伝えることは難しいのだ。過去と未来の結節点として、歴史や伝統を相続可能な遺産としてまとめ相続人のために遺すこと―それもまた同窓会の一つの存在意義であろう。

会則改正

主な改正点 副理事長職の新設をはじめとする役員に関する規定 理事および常任理事に関する規定 理事会、常任理事会に関する規定 など（章および条文の組み換えがあったため全文を掲載）

千葉県立国府台高等学校同窓会会則

第1章 総則

[名称]

第1条 本会は、千葉県立国府台高等学校同窓会（鴻陵会）と称する。

[所在]

第2条 本会は、事務所を千葉県立国府台高等学校（母校）におく。

[目的]

第3条 本会は、会員相互の親睦を計り、母校を後援し、その充実発展を期することを目的とする。

[事業]

第4条 本会は、次の事業を行なう。

1. 会員台帳の管理
2. 会報の発行
3. 母校支援
4. その他目的遂行に必要な一切の事業

[会員]

第5条 本会は、正会員および特別会員により組織される。

2 正会員は次の者とする。

1. 千葉県立国府台高等学校卒業生
2. 千葉県立国府台高等学校葛南分校卒業生
3. 市川市立国府台高等学校卒業生
4. 市川市立国府台中学校卒業生
5. 市川市立国府台高等学校併設中学校卒業生のうち入会を希望し、会長が認めた者
6. 市川市立高等女学校併設中学校卒業生のうち入会を希望し、会長が認めた者
7. 前各号に掲げた学校の中途退学者のうち入会を希望し、会長が認めた者

3 特別会員は、次の者とする。

1. 母校現職員
2. 母校旧職員
3. 本会に於いて特に推薦された者

第2章 総会

[総会の権限]

第6条 本会の最終意思決定は総会に於いて行なう。

[定例総会]

第7条 定例総会は毎年1回、原則として5月第4日曜日に開催する。

2 定例総会に於いては、次の事項につき議決を行なうものとする。

1. 事業報告
2. 決算会計報告
3. 監査報告
4. 事業案
5. 予算案

[臨時総会]

第8条 会長および理事会が必要と認めるときは、臨時総会を開催することができる。

第3章 理事会

[理事会の構成]

第9条 理事会は、本会の役員および理事により構成される。ただし、理事長は特に必要と認められた者をオブザーバーとして臨席させることができる。

[定例理事会]

第10条 定例理事会は毎年1回開催する。

2 定例理事会に於いては、定例総会に提出すべき議案について審議を行なうものとする。

[臨時理事会]

第11条 常任理事会が必要と認める場合には、臨時理事会を開催することができる。

第4章 常任理事会

[常任理事会の構成]

第12条 常任理事会は、会長、副会長、理事長、副理事長、常任理事、会計および書記により構成される。ただし、理事長は特に必要と認められた者をオブザーバーとして臨席させることができる。

[常任理事会の権限]

第13条 常任理事会は、本会の一般事務を処理する他、次の任にあたる。

1. 本会の運営方針を策定すること
2. 本会の事業につき企画立案を行なうこと
3. 各委員会の活動を掌理し、調整を図ること

2 常任理事会に於いて決定された事項は、理事会の承認を得て総会の議案とすることができる。

[常任理事会の開催]

第14条 常任理事会の開催は会長の承認による。

第5章 理事および常任理事

[理事]

第15条 本会に、理事をおく。

2 理事は本会と各会員の間の会務を掌り連絡にあたる。

3 理事は次の各号に該当する者を理事長が委嘱し、総会に於いて承認を得るものとする。

1. 各卒業期の代表
2. 葛南分校の代表
3. 理事長は会務の遂行のため必要と認める場合に、若干名の理事を指名することができる。ただし、全理事の1割を超えることはできない。

[常任理事]

第16条 本会に常任理事若干名を置く。

2 常任理事は、会の業務を遂行し、会の運営に資する。

3 常任理事は、理事会の互選により、総会に於いて信任を得るものとする。

[理事および常任理事の任期]

第17条 本会の理事および常任理事の任期は承認または信任を受けた日より2年間とし、再任を妨げない。ただし、任期が満了した場合、次期の役員が選任されるまでの間引き続きその職務を行うものとする。

2 補欠の任期は、前任者の残任期間とする。

第6章 名誉職

[名誉会長・相談役・顧問]

第18条 本会には、名誉会長、相談役および顧問をおくことができる。

2 名誉会長、相談役および顧問は、会長が委嘱することができる。

第7章 役員

[会長]

第19条 本会に会長1名をおく。

2 会長は本会を代表するとともに、会務を統括する。

3 会長は、理事会で指名し、総会に於いて承認を得るものとする。

[副会長]

第20条 本会に副会長2名以上4名以内をおく。

2 副会長は会長を補佐し、会長に事故ある場合は会長に代わりその職務を行なう。

3 副会長は、理事会で指名し、総会に於いて承認を得るものとする。

[理事長]

第21条 本会に理事長1名をおく。

2 理事長は会務を掌る。

3 理事長は、理事会の互選により、総会に於いて承認を得るものとする。

[副理事長]

第22条 本会に副理事長をおく。

2 副理事長は理事長を補佐し、理事長に事故ある場合は理事長に代わりその職務を行なう。

3 副理事長は、理事会の互選により、総会に於いて承認を得るものとする。

[書記]

第23条 本会に書記2名をおく。

2 書記は本会の各会議の議事を記録する。

3 書記は、常任理事の中から理事会で指名し、総会に於いて信任を得るものとする。

[会計]

第24条 本会に会計2名をおく。

2 会計は本会の金銭出納を管理する。

3 会計は、常任理事の中から理事会で指名し、総会に於いて信任を得るものとする。

[監査]

第25条 本会に監査2名をおく。

2 監査は会計の出納管理を監査する。

3 監査は、理事会で指名し、総会で承認を得るものとする。

4 監査は、会計と兼任することができない。

[役員の任期]

第26条 本会の役員の任期は承認または信任を受けた日より2年間とし、再任を妨げない。ただし、任期が満了した場合、次期の役員が選任されるまでの間引き続きその職務を行うものとする。

2 補欠役員の任期は、前任者の残任期間とする。

第8章 委員会

[委員会]

第27条 本会の事業を円滑かつ恒常的に遂行するため、委員会をおくことができる。

[委員会規則]

第28条 委員会は、委員会規則に基づき設置および改廃さ

れる。

2 委員会規則の制定および改廃は総会の承認を得なければならない。

第9章 会計

[会計処理]

第29条 本会の会計処理に関する事項は、総会の承認を得ることとする。

[会計年度]

第30条 本会の会計年度は、4月1日より翌年3月31日までとする。

[会費]

第31条 正会員は、入会時に終身会費3,000円を納入する。

第10章 会則の改廃

[会則の改廃]

第32条 この会則の改廃は、総会に於ける出席者の3分の2以上の多数決によらなければならない。

第11章 補則

[議決の方法]

第33条 本会の議事運営は、この会則に特に定めのある場合を除き、会議の一般原則によることとする。

2 本会の会議に於ける議決は、この会則に特に定めのある場合を除き、出席者の過半数による。

[施行]

第34条 本会則は平成7年5月28日、全面改正により施行する。

2 本会則は平成8年5月27日、一部改正により施行する。

3 本会則は平成12年5月28日、一部改正により施行する。

4 本会則は平成16年5月23日、一部改正により施行する。

5 本会則は平成20年5月25日、一部改正により施行する。

6 本会則は平成28年5月22日、一部改正により施行する。

7 本会則は平成29年5月28日、一部改正により施行する。

8 本会則は令和2年8月30日、一部改正により施行する。

9 本会則は令和5年5月28日、改正施行する。

役員および常任理事

会長

流川 呉生（20） 新任

副会長

藤原 孝夫（葛南7・葛南の会会長）
星野 茂（30） 新任
飯田 幸治（35） 新任
高橋 亮平（47） 新任
80周年記念事業実行委員長

理事長

高橋 亮平（47）（副会長と兼任）

副理事長

（新設）
冨坂 友（56） 新任 広報委員長

会計

池田 由紀子（20） 新任
三上 勝伸（35） 新任 ※国府台高校教諭

書記

飯田 裕（20）
高橋 道乃（36） 新任 個人情報管理委員長

監査

村越 由美（25） 新任
小池（上野） 優香里（60）

常任理事

田中 愛子（9）
青山 旭（葛南10 葛南の会幹事長）
石引 美貴（葛南11 葛南の会副会長）
竹内 喜忠（14）
倉島 俊和（23）
榎本 弘良（29）
石橋 達平（44）
湯浅 将史（52）
藤河 慶典（54）

相談役

井尾 成海（3）
伊能 重憲（9）
加藤 徹（18） 新任

2023(令和5)年度 定例総会議事

2022(令和4)年度 一般会計決算報告

Table with 4 columns: 項目, 予算額, 収入済み額, 予算超過額, 摘要. Rows include 会費, 前年度繰越金, 特別会計より, 雑収入, 賛助金, 計.

2023(令和5)年度 一般会計予算

Table with 4 columns: 項目, 予算額, 前年度予算額, 前年度との差額, 摘要. Rows include 会費, 前年度繰越金, 特別会計より, 雑収入, 賛助金, 計.

2.支出の部

Table with 4 columns: 項目, 予算額, 支払い済み額, 予算超過額, 摘要. Rows include 運営費, 母校支援費, 委員会活動費, 鴻陵祭, 会報封入発送, 事業費, 特別積立, 予備費, 次年度繰越金, 計.

2.支出の部

Table with 4 columns: 項目, 予算額, 前年度予算額, 前年度との差額, 摘要. Rows include 運営費, 母校支援費, 委員会事業費, 鴻陵祭, 特別積立, 事業費, 予備費, 計.

2022(令和4)年度 特別会計決算報告

Table with 4 columns: 項目, 予算額, 収入済み額, 予算超過額, 摘要. Rows include 前年度繰越金, 積立金, 雑収入, 賛助金, 計.

2022(令和4)年度 特別会計予算

Table with 4 columns: 項目, 予算額, 前年度予算額, 前年度との差額, 摘要. Rows include 前年度繰越金, 積立金, 雑収入, 賛助金, 計.

2.支出の部

Table with 4 columns: 項目, 予算額, 支払い済み額, 予算超過額, 摘要. Rows include 80周年記念事業特別会計ハ, 次年度繰越金, 計.

2.支出の部

Table with 4 columns: 項目, 予算額, 前年度予算額, 前年度との差額, 摘要. Rows include 80周年記念事業特別会計ハ, 次年度繰越金, 計.

2022(令和4)年度 事業報告

本部
母校支援
部活動遠征等支援
課外活動壮行奨励制度
鴻陵会表彰
その他
会報全会員送付・賛助金募集
鴻陵祭展示

80周年記念事業準備委員会

80周年記念事業に関する準備・検討
学校・PTAとの「創立80周年記念事業実行委員会」
第3回 2022年7月19日
第4回 2022年8月5日
2回の実行委員会に参加
2022年10月1日付、同窓会加藤会長、国府台高等

サークル活動

旅行部
同窓生による旅行を計画したが、コロナ禍の影響で中止

2023(令和5)年度 事業案

本部
母校支援
部活動支援
課外活動壮行奨励制度
上位の地方大会(関東大会等)全国大会に
進出した団体の支援
鴻陵会表彰
受賞者に賞状と副賞(記念品)を授与
その他
生徒会助成、生徒会との意見交換等
コロナ禍における在校生支援の仕組みの検討
会報全会員送付・賛助金募集
鴻陵祭展示

2024(令和6)年度 定例総会

5月26日 日曜日 午前10時
於 国府台高校

会員どなたでもご参加いただけます。

その他

学校行事等への役員出席など
※コロナ禍の影響により未定

広報委員会

会報(第42号)の編集・発行
WEBサイト・SNSアカウント・動画サイト等の管理運営

個人情報管理委員会

同窓会会員台帳の更新
同窓会入会フォームを基に新卒会員(75期生)の登録
会報の発送先の精査
各期理事を通じての調査
個人情報保護法対策
会員台帳管理方法の改善

80周年記念事業実行委員会

(記念事業準備委員会から改称)
80周年記念事業の検討・実施
80周年記念祝賀会の開催
2024年2月18日(日) 15:00~17:00
東武ホテルレバント東京(錦糸町)

広報委員会

会報(第41号)の編集・発行
WEBサイト・SNSアカウントの管理運営

個人情報管理委員会

同窓会入会フォームを基に新卒会員(74期生)の登録
会報の発送先の精査
個人情報保護法対策
会員台帳管理方法の改善

ポスト

14期(1962年卒)

傘寿の集い

80代をたのしんで

第一回は還暦を迎えた

二十年前に、第二回は出
会いから六十年を記念し
て四年前、そして今回は
母校と同年の八十歳を記
念して、第三回の十四期
生同窓会を企画しました。
コロナの弱まった七月
七日、暑さ真つ盛りの銀



座の真ん中、ライオンビ
アホールの一室に二十余
名が集いました。
遠く静岡や市原からも
参加、孫に付き添われた
車いすでの来場。幹事が
市川市の海外視察や急病
で欠席などありましたが
爺婆張り切つて集合。

静謐な中で先立たれた
旧友への黙祷を捧げ、プ
レミアムビールと料理で
開宴。各人に一、二分で
「八十歳までのわが人生
のスピーチをお願いした
ら、これからの時間をど
う使いたいかなど皆さん
は熱い思いを語り、予定
時間を大幅に超過しての
大盛況。席を交換し合っ
ての交流もクラスの枠を
超えた豊かな時間になり
満足してもらえました。

幹事からはフリー参加
の七夕会合毎年開催の提
案。さらに我々は米寿の
祝いを母校国府台高校と
ともに元気で迎えようと
訴え、誓い合いました。

最後に書道家の幹事作
の横断幕を囲んで記念撮
影し、和やかなうちに八
十代突入記念の宴を閉じ
ました。

鈴木隆夫

43期(1991年卒)

同期会

やつと笑顔で

四十三期生は、十三年
ぶりの学年同窓会を二〇
二三年五月二〇日市川グ
ランドホテルで開催しま
した。コロナ禍で三年間
企画の中断を余儀なくさ
れましたが、「やつと会
えるね。笑顔で再会しよ
う!」をキャッチコピー
に参加を募り、約一〇〇
名の方に参加いただきま
した。

一次会は、幹事代表の
鈴木輝重君(八組・ラグ
ビー部)による乾杯挨拶
で開会。クラスごとの写
真撮影の後、十二名の方

により笑いあり感動あり
のゲストトークが披露さ
れ、会場は大変な熱気と
笑顔に包まれました。最
後は、残念ながら出席が
叶わなかった仲間にも思
いを馳せつつ、次回七年
後の再会を誓い合い閉会
となりました。



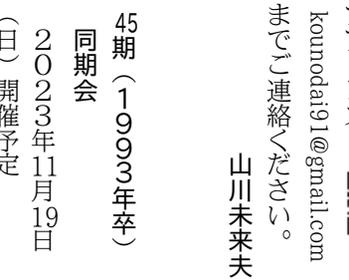
今回参加いただいた四
十三期生の皆さま、また
の再会の日までどうかお
元気で!また、この記事
をご覧になられた四十三
期生の方で次回同窓会の
案内が欲しい、また同期
とつながりをもちたい
(学年全体、クラスごと
のグループLINEあり)

メールアドレス

kounodai91@gmail.com

までご連絡ください。

山川未来夫



などご希望がありましたら、グルー
プアドレス

QRコード

までご連絡ください。

山川未来夫

45期(1963年卒)

同期会

2023年11月19日

(日)開催予定

部を立ち上げた事など、
懐かしく思っていること
ろです。

転居しました。

河内 賢隆(6)

お世話になった先生方
の姿が目に見えます。

村上、塚本、立原、矢
野、釜山先生方。

平賀 祥元(7)

二〇二三年は創立八十
周年記念式典を!

さらに七期生は八十八
才の米寿を迎えるので重
ねての喜びである。

また、昭和二十八年に
有志をもってバスケット

田中 愛子(9)

生まれ育った行徳でま
だ根っこをのばしていま

す。町づくり協議会役員、
行徳文化懇談会、そして
令和五年に行徳小学校百
五十周年、忙しく動いて
いるので元気です。

鈴木 武久(10)

年月の経つのは早いも
ので、悪ガキの鈴木もこ
こで八十三年を迎えます。
これからも好きな花(さ
つき、つつじ、水仙)の
手入れ等で過していきたく
いです。又、コロナ禍の
早期終息を願っています。

ご協力に感謝!

会員有志の方々から賛助
金にご協力を頂きました。
(二〇二三年四月、
二〇二三年六月)

【1】柴田逸郎 田邊福松

【2】天野陽一 吉岡健一

【3】浅野誠 石田道勇

皆藤光男 柴田静治 杉浦
右蔵

【4】浅賀俊策 小貫丹

【5】飯田三郎 小川治

【6】安島康夫 河内賢隆

神沢利宗 河野稔 齋藤純
生 日比野紀男 宮本忠郎

山本五男 前田奈美子 山
本華南美

【7】大西正純 澤田大八

郎 松丸敏明 土屋光 徳

田睦 平賀祥元 湯浅時夫

渡辺エ子 日暮敏子 桜

田葉子 宇田川幸子

【8】勝澄子 河野豊 山

崎博子 登坂公江 豊田重

明 野中勲民 野村佳雄

星野元雄 増田紀久江

【9】市川澄子 大窪絢子

奥田和子 金子敬子 後藤

正道 柴田忠 柴田幸子

高島三津彦 田中愛子

【10】浅野和子 遠藤征勝

大浦眞佐子 楠武徳 櫻井

壽一 鈴木武久 遠山登士

高田節子

【11】比嘉久治 山田敏明

渡邊武 浅賀巖 柴田矩雄

藤井寛子 三戸蒼子 加

藤明身 福地身一 堀越武

久 小笠原貞子 保坂千恵

子 松浦三津子

【12】秋本幹夫 交野実

野澤秀子 鈴木洋子 岡村

克子 中田啓子 高梨洋一

根岸薫 室和成 山崎壽子

齋藤栄子 中山文子 杉山
徹宗 宮山繁 高木召子

【13】小林洋子 松平百合

子 岩瀬久美 大内進 大

久保等 向吉千恵 河西義

明 久門晋 藤平真木子

田中隼夫 立原昭臣 千葉

和恵 岡本允子 西村昭彦

関邦子 岩瀬多喜子

【14】益子勝美 豊田芳子

國松輝夫 田中田人 須賀

昭子 田中英子 本吉良子

小野昭夫 竹内喜忠 植田

豊 山崎主税 佐野眞代

秋山喜義 鳥居英彰 中村

賢一 本間和子 秋元幸男

岸田浩一 清水早智子 那

知輝慧 萩谷和恵

【15】佐々木三枝子 染谷

昭一 谷口健雄 宮田実

柴藤瑠美子 渡邊敏子 中

西愛子 阿部君世 荒井美

津子 安藤康彦

【16】吉沢マサ江 西野愛

子 近藤美恵子 小倉俊昭

角谷富士男 高橋勲 山崎

八重美 町山和江 佐倉保

島野修至 山口美智子 服

部洋子 松岡厚子 黒川公

子 前川正敏

【17】及川博 福田幸子

貝田宏子 石渡信之 村上

榮一 積田和子 平川三枝

子 山本尚子 海野幹夫

野間宗 野本とも子 高山

義子 武内修 友寄景和

齊木幸子 千葉洋子 三浦

多恵子

【18】中島和子 大久保栄

一 丸茂茉莉 青木俱子

内田明代 山崎有子 嶋田

はる子 重山行雄 吉田章

代 大越芳江 藤原洋子

貝之瀬美代子 荒井寛子

川島千津子 福池幹雄 石

松礼子 松丸伸一郎 山本

明世 植田洋一 中台久作

井達雄 中澤徳之 山崎真
弘 川上早苗 鈴木泰男

【19】畠好太郎 谷古義和

横尾格美 赤堀正光 小川

幸次 山内泰生 白橋久美

子 田中栄二 山之内慎一

吉村三男 寺崎光枝 明石

和子 神島盛雄 高橋和子

秋元正弘 梅田政二 佐藤

清士 小池直子

【20】秋本茂夫 大川博志

大久保博 竹谷孝一 池田

由紀子 木幡道子 堀江伸

治 飯田裕 千石徹 皿池

真知子 石井実 熊谷俊一

東條保典 永塚博達 澤田

友佳 高木保 土屋雄三

土屋五百子 長谷川景子

天野和代 稲葉あや子 永

澤京子

【21】宮本仁志 相澤令子

畑卓 松田和夫 増山佐代

子 高橋俊治 江崎道子

山本正博 桑原裕子 多田

光

【22】田中孝夫 松丸裕一

石川恵美子 松岡淳 笠野

昌樹 兼子直孝 矢作宏

田村裕子 井上邦夫 西岡

晶子 小倉和幸 織田透

熊岡敏夫 寺西薫 大澤節

子 山下幸治 川端貴代志

野村誠 横尾幸子 小田勝

正 加瀬友喜 藤井暢純

松井重喜 村山美枝子

【23】松岡秀明 森本利

中島行雄 小林文文 丞村

宏 秋葉滋 原田恵津子

田口幸夫 大久保進 河西

紀美子 島根澄江 沖野雄

司 倉島俊和 日野浩光

【24】川上伸児 柴田則夫

川上美紀子

【25】泉澤祐治 高橋良子

萩原靖昭 桜井新也 国分

智 松田恵子 高橋清 萩

原剛 川畑雅史 中村正樹

浅野 誠(3)

卒寿(九十才)を迎え

ました。元気にしており

ます。国府台高校在学中

の三年間バレー部で鍛え

た健康のお陰かと感謝し

ております。

皆藤 光雄(3)

三期会趣味の会残金を

賛助金として送ります。

小川 治(5)

「くすりの福太郎」を

座の真ん中、ライオンビ
アホールの一室に二十余
名が集いました。

遠く静岡や市原からも
参加、孫に付き添われた
車いすでの来場。幹事が
市川市の海外視察や急病
で欠席などありましたが
爺婆張り切つて集合。

静謐な中で先立たれた
旧友への黙祷を捧げ、プ
レミアムビールと料理で
開宴。各人に一、二分で
「八十歳までのわが人生
のスピーチをお願いした
ら、これからの時間をど
う使いたいかなど皆さん
は熱い思いを語り、予定
時間を大幅に超過しての
大盛況。席を交換し合っ
ての交流もクラスの枠を
超えた豊かな時間になり
満足してもらえました。

幹事からはフリー参加
の七夕会合毎年開催の提
案。さらに我々は米寿の
祝いを母校国府台高校と
ともに元気で迎えようと
訴え、誓い合いました。

櫻井 壽一(10)
楽しい人生のために健康とボランティアの毎日ですが、死んでたまるか！負けてたまるかの超元気です。

山田 敏明(11)

コロナ禍の一日も早い終息を願い、六十年前の校舎を早く見に行きたい。沖繩在住の級友比嘉久治君に本会報を送付してほしい旨連絡しておりますが十二月十二日現在届いていないとの事。よろしくお願ひします。

比嘉 久治(11)

十一期生三年一組の比嘉久治です。

山田 敏明君の努力で手

続きがで感謝していません。復帰前のドル時代に沖繩から母校に転校して楽しい学生生活を送りました。四、五年前に母校の横断幕を見て感激しました。母校の発展を沖繩から祈っています。

柴田 矩雄(11)

卒業して六十三年、八十才になって今まで病気もせず薬も飲まない人が二〇二二年十月ヘルニアと脊柱管骨折の手術二回あり、その時に何度も血液検査をしたら非常にきれいだとの事。たぶん二十数年オリブ油を欠かさず飲んでるのが薬と思った。

藤井 寛子(11)

役員の皆様にはコロナ禍の中お世話様です。母校とほぼ同年(令和四年で八十一才)。当時のいろいろな行事や同期生との思い出が沢山あります。白黒写真ですがいつ見ても懐かしいです。

五組恩師勝輝夫先生我がクラス七名程参列しご家族の方々と思い出を語り懐かしかった。先生のご冥福をお祈り致します。

秋山 喜義(14)

令和四年九月五日三年

中村 賢一(14)

二〇二二年八月に、恩師、勝輝夫先生が亡くなりました。九十八才の天寿を全うされました。お元気なころは、旧三年五組のクラス会の際には必ず参加され、話題はいつも満載でした。(合掌)

山崎 壽子(12)

終の棲家へ転居しました。

秋本 幹雄(12)

元気でやっています。

杉山 徹宗(12)

私の名前は徹宗です。撤宗ではありません。ご注意ください。

高木 召子(12)

旧姓小熊です。八十周年おめでどうございます。十二期生そろそろ八十一才になります。孫は六才と三才、まるで曾孫ですがかわいくて、かわいくてこの子たちの成長を見るため長生きしたいです。今のところどこも病気がないのですが…

岩瀬 久美(13)

四十一号に乗っている名前は美でなく久美です。久が抜けていました。よろしく！

佐野 眞代(14)

関川浩一先生(英語科)とのお別れ、仲良しのクラスメートも次から次へ。この頃は病院と仲良くな

宮田 実(15)

今年(二〇二二年)は茶道教授歴五十年になりました。もう少し頑張ります。

野本 とも子(17)

会長、理事、委員のみなさまお世話様です。楽しみにしています。ありがとうございます。年ごとにご存知のお名前が少なくさびしいです。

中島 和子(18)

健康維持を兼ねて昨年より房総の低山歩きを始めました。月に一〜二回のペースで二十回程登りました。山の中での会話は猪、猿、鹿、キョン、ハクビシン、山ヒルばかりで登山客には一度も会わず静かな山行を楽しんでいます。

内田 明代(18)

「極真空手」を習い始めました。月に一〜二回つたり快感です。

福地 幹男(18)

賛助金協力者の名前、幹男が幹雄になってます！誤りです。

松丸 伸一郎(18)

JR市川駅北口で弁護士事務所を開設しております。

AAA推進協議会の代表理事をして、IT機器でシニアや高齢者を応援する活動を続けております。

明石 和子(19)

高二の時、関西に勤務になり卒業はできませんでした。いくつになっても国府台高校の思い出は鮮明に覚えています。テニスの部の合宿の時には先輩がソクソクとコーチに来てくれた事等々甘酸っぱい思い出です。

飯田 裕(20)

本年(二〇二三年)二月よりシルバー人材センタ―に登録、市川市南の江戸川沿いの北越製紙工場の構内清掃に午前中(八時から十二時)週五日で働いています。散歩の変わりの労働です。

永塚 博達(20)

会報ありがとうございます。在学時の懐かしさが蘇ります。種々の記事に接し、

宮本 仁志(21)

送金が遅れて申し訳ありません。

増山 佐代子(21)

封筒を捨ててしまいIDが分かりませんが、二十一期です。よろしくお願ひします。

高橋 俊治(21)

私は加藤建さんと同じ五経協産業にいました。

山本 正博(21)

創立八十周年、がんばって下さい。

桑原 裕子(21)

家庭菜園と水泳を楽しんでいます。

矢作 宏(22)

青森と木更津で、当直ありで週五日働いています。

小倉 和幸(22)

会報に男子バレー部がなく寂しいです。

織田 透(22)

千葉県教育委員会によると令和六年度から国府台に「教員基礎コース」を設置とのこと。どんな学校になるのか興味があります。

熊岡 敏夫(22)

年四〜五回東北秘湯温泉をテニス仲間と車で巡っています。今年は八幡平、蔵王、裏磐梯(特に露天風呂)に行ってきました。

藤井 暢純(22)

二〇二三年は年男で七十二歳です。なんとか元気でやっています。十月二十二日の誕生日に以前勤めていた会社の歴史館(財団法人)の代表理事になり、いい歳でまだ働いています。

沖野 雄司(23)

二十三期倉島・勝田両氏、古希学年会待っていますよ。早くしないと古希終わっちゃうよ！頼みます。

倉島 俊和(23)

創立八十周年を迎える母校に尊く熱き想いと共

【26】末廣左千子 渡辺幸保 小谷祐一 秋葉美江 宮本文彦

【27】遠藤悟 清水絹代 植草勉 瀧口宏 新橋孝久 木下陽子 小関恵理子 橋本則子

【28】内藤和夫 石本恵理 金澤美智子 讃岐田恵美 稲富徹 日比典子 富永敦子 古地庸子 松丸ちづる 多田真 河野尚美 小澤裕 紀子 堀切伸一 高野容子 岡田寿美子 森真由子

【29】井崎真理子 平井まゆみ 森山厚子

【30】大平英俊 岡野順子 高木英三子

【31】筒井まさ子 落合幸子 塚本浩司 山口眞弓

【32】武者弥生 田中郁子 松浦重明 谷口尚範 相原一仁 清水博之 多田泰久 久保田薫 須賀京子 稲田淳子 多田くみ子

【33】高橋義則 野村誠人 坂井眞

【35】加藤一美 鈴木貴志 福田正章 中村雅美 保田広安 小林和広 高橋みどり 大森修子

【36】小林昌義 丸山誠一 小林雅子 押切信幸

【37】石井博之 大谷清美 田畑恵子

【38】猪野周九 渡辺祥子 西村幸子

【39】石田基明 稲嶺健 荒井歩

【40】田中寛子

【42】榎村道輝 翠川雄一朗

【43】佐野直人

【44】平賀祥文

【45】橋本華恵

【46】中川清輝

【48】石川紗樹

【52】鈴木由香梨 小黒ゆかり 川島健 高木佑樹

【54】宮路梨恵子

【57】小林大陸 梅澤研人

【59】花田遥香

【60】栗山沙織 金井伊織

【67】岡田梓沙

【73】國司裕一郎

【葛南1】佐藤武 須賀常吉

【葛南6】矢嶋弘子

【葛南8】末次治子

【葛南11】石引美貴

【葛南12】宮下ノブ子

【葛南17】大久保明美

【葛南18】武田芳人

【葛南19】須永富美子

【恩師】鬼島正和 石本剛 大木忠郎 松澤妙子 梶谷明 松本健 長澤淑夫 長澤ゆみ子 酒井健一 富永勝子 関信夫 條冬樹 稲田正興(32)

(二回振込九名・匿名一名 延四二七名

ランで学年会(統合クラス会)を準備したく企画を推進します。

松岡 秀明(23)

年金生活で経済的に苦しい生活ですが、山登りで体力防止に努めている毎日です。

高橋 良子(25)

住所変更しました。

国府台高等学校80年の歴史

参考文献/写真「創立四十周年記念誌」「記念誌 鴻」
『私版葛南分校史』『同窓会会報』『同窓会web』

平田 市川市立中学校、平田の市川市立中央国民学校(現平田小)敷地内仮校舎にて開校
当初は宮久保(現市川三中)での開校を計画していました。

宮田 国民学校で火災があり、宮田(現宮田小)に移転生徒会発足



中学校転出後の宮田にて市川市立高等女学校開校
開校直後に学制改革の実施が決まったため、市川市立高等女学校は募集停止となり、一学年のみでした。

(旧制) 市川市立高等女学校

(新制) 市川市立国府台高等学校(女子部)

女子部は引き続き宮田校舎



千葉県内にあった高等女学校の多くは、単独で女子高校となり存続しました。唯一、市川市立高等女学校は、市川市立国府台高等学校との合同で市川市立国府台高等学校となりました。
1 後に男子の募集を開始し共学となった例もある。
2 合同によって勝浦高等女学校となった勝浦高等女学校の例があるが、相手方が「中学校」ではなかった。

南行徳 千葉県立国府台高等学校葛南分校開校



葛南分校の外観と内部



当時の行徳町・南行徳町・浦安町では高校開設が熱望され、地元三町の負担もあり、南行徳町立中内に定時制の葛南分校が開校しました。

1943・4

1944

1945

1946・3

1947

1948

学制改革

11

1949

1950

1951

1953

同窓会正式発足



市川市立中学校校章

市川市立中学校は、千葉県内で最後に設立された旧制中学校となりました。

国府台 国府台の東部第188部隊跡に移転

市川市立国府台中学校に改称校章制定



(旧制) 市川市立国府台中学校

(新制) 市川市立国府台高等学校

第1回文化祭 「鴻慶祭」の名称はまだ使われていません。

女子部、国府台に合流

県移管され千葉県立国府台高等学校となる
校歌制定され、6月1日の県移管式典にて初披露(以後、この日を創立記念日とする)

『雑誌国府台』創刊
講堂落成



講堂の外観と内部
国府台最初の新築施設。
天井照明に採用した蛍光灯が、当時はまだ珍しいものでした。



声

中島 行雄(23)

本校の校歌にもあるように、人間同士の「敬愛」を大切にして、ウクライナのような悲惨な戦争をなくし、「平和」で「自由」や「文化」が大切にされる世界を、みんなの手で作ろう。

秋葉 美江(26)

いつも同窓会会報をありがとうございます。なつかしい名前やできごとを読み楽しんでおります。

宮本 文彦(26)

会報の電子化をしてはいかがでしょうか。払込も電子マネー対応とか。日比(浮ヶ谷)典子(28)

毎年まめにクラス会を行ってきた「三の三」。コロナ禍で中断しています。山口先生お元気ですか。皆で再会できるのを楽しみにしています。

堀切 伸一(28)

コロナが継続してクラス会で仲間と会えないのがさびしいですね。松澤先生の三年八組の仲間でもまた集まりたいです。ラグビー部は今無いですか? 新人戦で県ベスト4なつかしいです。

古地 庸子(28)

沼津市の私立学校の中、高校で英語の講師をしています。二十二年経ちました。

井崎 真理子(29)

ようやくコロナも下火になり、二〇二二年五月二十八日プラスOBが中心で作った「いもぼんど」の演奏会に。三年ぶりの演奏会。受付に元クラスメートの小森君。お互いに分からなかった。演奏会後久しぶりに近い代が集まって飲み会に。ライオングループも良いけれど対面は格別。再会の喜びをかみしめる会となった。

森山 厚子(29)

いつもありがとうございます。英語の和田先生はミスター和田でしょうか。かと思っております。岡野 順子(30)

三〇期です。いつもありがとうございます。

高橋 義則(33)

いつもご苦労様です。中村 雅美(35)

三十五期旧姓吉田です。山梨県で特別支援学校の教員をしています。田畑 恵子(37)

初めて賛助させて頂きます。活動の継続がんばって下さい。

佐野 直人(43)

二〇二二年で知命を迎えました。未だに国府台の方々とご縁が深いです。三十二年前の恩師三名に仕事上大変お世話になっております。当方同級生後輩含め公私ともに国府台高校に支えられています。

橋本(山岡)華恵(45)

二〇二二年七月二十一日読売朝刊に母校生徒の意見が、まとめて取り上げられており、懐かしみながら読みました。宮路 梨恵子(54)

近隣市で社会福祉士として働いています。

会報にて尊敬している久保木先生が再任用で国府台にいらっしやうたことを知りました。二〇二二年の文化祭、

たまたま近くを通り、門で写真を撮りました。皆さんのがんばりが形となっていることを知りうれしかったです。

須賀 常吉(葛1)

母校の益々の発展を祈ります。

末次 治子(葛8)

ケアマネージャーの仕事りタイアス卓球に夢中です。八〇才過ぎてでもスポーツ出来る健康に感謝です。

石引 美貴(葛11)

楽しい会であります様に。

1956	1959	1960	1962	1963	1967	1968	1969	1975	1976	1978	1980	1981	1982
		・1	・5	・9・6	・4・3							・3	

本館(2代目) 一期工事竣工 県下初の鉄筋コンクリート3階建校舎

本館二期工事竣工

(旧) 体育館竣工

塑像『輝』除幕

生徒会館落成

正門移設

プール落成

創立20周年・第二校舎落成記念式典

L1L2教室完成

同窓会会報創刊

卒業式「答辞すり替え事件」

浅間山遭難事件

第20回鴻陵祭 合唱祭+文化祭+鴻陵祭 複合型鴻陵祭の始まり

★陸上競技 インターハイ総合優勝【8面をご覧ください】

生徒会書記局崩壊 ↓ 1971年に再建

この頃「校舎移転問題」浮上 本校の敷地が手狭なため、国分(元和洋国府台女子中およびその周囲)への移転が取りざたされるようになりました。

高校入試学校群総合選抜制実施(1977)

国府台は、国分、鎌ヶ谷と第3学群に編成されました。各校の全日制課程普通科の定員の合計を学群の定員とし、第1次配分：各校の第一志望者の成績上位20%を優先的に入学許可候補者とする。第2次配分：各校入学者の成績分布、男女比の均等に配慮し配分・均等配分の範囲内で第一志望を尊重・第一志望以外に配分される者については通学時間等を勘案するなどとなっています。

修学旅行、全校遠足 ↓ 学習旅行、グリーンスクール・ホームルームデーに改変

★フエニング女子 インターハイ優勝

佐藤錦一氏(3期) 校章を製作寄贈

入学者選抜学力試験定員割 二次募集

南行徳 千葉県立国府台高等学校葛南分校閉校

第35回鴻陵祭 3年生全団体演劇になる

国府台での校舎全面改築決まる(「校舎移転問題」解消)



▲1960年 本館・体育館が完成しています。正門が県道に向かって開いています。
▲1962年 生徒会館・プールが落成。プールとの位置関係から校門が移設されました。



塑像『輝』除幕

『輝』は日展理事、千葉県美術会会長を務めた藤野舜正師の作品。ご令嬢が在籍していたご縁で12期生の卒業記念として寄贈されました。



生徒会館の建築には生徒も参加しました。池は「和」の字を模したといわれています。

第2校舎 旧青空廊下も同時に竣工しました。



「校章」



行徳高校定時制に移管という形で葛南分校は閉校となり、30年の歴史を閉じました。



1983	1984	1985	1987	1991	1993	2000	2003	2007	2009	2010	2011	2013	2020	2023
創立40周年					創立50周年	2000	創立60周年					創立70周年		創立80周年

校舎全面改築工事着手

生徒会館・木造校舎解体

第37回鴻陵祭 NHK「われら高校生」で全国放映

新体育館・本館落成

『創立四十周年記念誌』発行

★ダンス ドロシーエインズワン賞受賞

旧体育館解体 校舎全面改築完了

★ダンス 全日本高校大学フェスタ特別賞受賞

学校関係の創立記念行事特になし

1994・2 同窓会単独主催「創立50周年記念祝賀会」開催

この頃「卒業式における国旗国歌問題」

創立60周年記念事業 記念式典・記念誌『鴻』発行・記念祝賀会(2004・2)

同窓会より鴻陵祭鴻陵賞トロフィー贈呈

普通教室冷房設備設置 PTAが費用を負担

校舎耐震補強工事 螺旋階段撤去・鉄骨スレープ設置

「葛南の会」結成

青木利男氏(9期) 日本庭園「静閑苑」寄贈

葛南分校60周年記念事業 記念碑建立

静閑苑という漢字が隠れている青木氏に寄贈されています。



創立70周年記念式典 同窓会より新校旗を贈呈

2014・2 同窓会主催「創立70周年記念祝賀会」

★書道 第23回全日本高等学校書道コンクール 最優秀校(全国優勝)

★吹奏楽 全日本ブラスシンフォニーコンクール全国大会 優勝

全日本ポピュラスターシ吹奏楽コンクール全国大会 優勝

新型コロナウイルス感染症対策のため第73回鴻陵祭中止

第74回鴻陵祭 3年生劇団体のみ実施 一般公開なし

第75回鴻陵祭 事前の抽選により入場制限

鴻陵祭四年ぶりに正常化 【10・11面をご覧ください】



BEFORE & AFTER



第37回鴻陵祭後夜祭



改築工事中は校庭使用不能のため河川敷の第2グラウンドで。



在りし日の螺旋階段とその痕跡



新調した校旗を本校校長に手渡す伊能同窓会長(肩書はいずれも当時)

レジェンドと振り返る

インターハイ優勝

陸上競技部

国府台高校陸上競技部は1968年(昭和43年)、高校陸上界で千葉県初の日本一「全国高等学校総合体育大会(インターハイ・以下IH)総合優勝」という偉業を成し遂げ秩父宮賜杯を授与されております。当時のエースで後に男子百メートルの日本記録を樹立した石沢隆夫さん(2017・平成29年没)をはじめ、多くのIH入賞者を輩出してきた歴史もございます。

創立80周年の節目の年に改めてこれらの快挙を振り返ろうと、2023年6月17日(土曜日)本校会議室に往年の監督・卒業生をお招きし、当時のお話などの生の声をお聞きし、現役生へ向けてのメッセージをいただきました。現役部員もその伝統と歴史、誇りやプライドを再認識できた一日となりました。



お招きした先生、先輩方の経歴とお話です。

藤原生通【たかみち】先生

国府台在職は1964~1978年

1968年度の第21回広島インターハイ総合優勝監督

ご自身は三段跳びでの五輪候補選手

藤原先生からは「徹底した走力の強化」が大切で陸上競技は種目に限らず100mが速くなればダメと云う持論をお聞かせいただきました。広島IH400mリレー決勝はまさにその集大成で、1位と同タイムながら2位となりましたが、それまでの1年間を通してそれが初の負けであったということでした。また、いつどのようなコンディションでも自己ベストが出せるように「精神力の強化」も重要で、IH期間中悪天候が続く優勝候補が次々といなくなる中、出場した4人全員が上位入賞を果たす結果につながったと云うことです。藤原先生自身、この日の来校は異動されて以降初めてということでした。「昔は千葉高・船高・国府台と言われていたんだ」という誇らしげな話や、「校歌が立派で素晴らしく今でも歌えるよ!」という話も飛び出し、国府台高を懐かしみ、その深い愛情や思い入れを感じる貴重なお話をしていただきました。

吉田章代【ふみよ】さん(19期)(旧姓 飯島)

1964・65年、IH女子800mに2年連続出場

2年次の大阪IHでは決勝進出を果たす

3年次の全日本クロスカントリー女子3000mで3位入賞

吉田さんは入学時、なんと合唱部に所属されていたそうで、校内マラソン大会優勝をきっかけに先生に誘われて入部、そのわずか半年後の大阪I

H女子800mでは決勝に進出する大躍進を遂げました。ところが決勝レースで他の選手と接触して転倒、6位入賞に届かなかったという悔しいお話も伺うことができました。また、この時大阪の地で親身に付き添いをしてくれたのが現コーチの福地さんということで、当時の感謝の気持ちも述べていらっしやいました。吉田さんは翌3年次も関東大会で優勝し、IH準決勝まで進出されております。

小西和久さん(21期)

広島IH総合優勝時の主将

5種競技と400mリレーで2位入賞

2年次のIHでも5種競技に5位入賞している

主将であった小西和久さんですが、2年次よりIHで入賞するなどの活躍。専門は走り高跳びでしたがそれを棄権し、より得点確実な5種競技に専念し第2位入賞。主将としてチームを引っ張りながら大車輪の活躍をされました。卒業後アメリカの大学にも留学され、商社での海外勤務で活躍されたお話やご苦労されたお話など、早くから広い視野を持ち目標を見定めることの大切さといったことを伝えていただきました。今の高校生の考え方には刺激となったようです。先日、1968年3月発行の雑誌国府台に「我々陸上部の来年度の目標はただ一つ、全国制覇を成し遂げることである」という文章を発見いたしました。ご本人は忘れていたようですがこの有言実行振りには感服するばかりです。



100m	4位	石沢隆夫
200m	2位	石沢隆夫
400mR	2位	小西和久・町野幸史・片柳康男・石沢隆夫
走り幅跳び	2位	石沢隆夫
やり投げ	2位	町野幸史
5種競技	2位	小西和久
総合の部	優勝	総合得点 28点

町野幸史さん(21期)

IH総合優勝時は本校出場の最終種目やり投げに出場、第2位の5点を獲得しチーム総合優勝を決めた

専門は投擲だが400mリレーでも2位

やり投げで2位となった町野幸史さんですが、昔の陸上競技専門誌によると砲丸投げでも15m52cmで全国ランキング3位という実力者。IH総合優勝を左右する本校最後の出場種目となった「やり投げ」に出場した町野さんのプレッシャーがいかにほどだったか?という話になり、迫る中京高校を突き放す一投について「集中力が相手よ



全国高等学校総合体育大会 男子優勝旗 秩父宮記念スポーツ博物館所蔵 (特別に撮影させていただきました)

り優れていた、ただそれだけ。」という町野さん本人でなく、藤原先生の弁。やってきたことが特別でない、ごく当たり前のことをしただけという前出の「精神の強化」そのものの答えが返って参りました。

その後国体でも4位入賞されております。

福地身一さん(11期) 本校陸上競技部コーチ

1958年下関IH800m5位入賞

予選の2'01"1は当時の千葉県記録

本校公認コーチの福地さんですが、毎日練習に駆けつけていただき、生徒に温かいアドバイスをいただいております。

藤原先生よりひとつ上の御年83歳。本校2人目のIH入賞者で800m5位に入賞されております。記録的猛暑となった先夏も「陸上部の指導が生きがい」と毎日練習に来られ、自前で氷を振る舞うなどの無償の愛には頭が下がります。「基礎・基本が一番大切」だと陸上競技の基本の基を繰り返し力説いただいておりますが、生徒たちには人生における何事にも通じる言葉と気づいてくれることを望むばかりです。



前列左から 町野さん、吉田さん、藤原先生、福地コーチ、小西さん

陸上競技部の過去の活躍を調べたところ、IH出場者は延べ37名、入賞数は14種目(現在入賞となっている7、8位も2種目あり)、超高校級であった前出の石沢隆夫さんは翌IHで走り幅跳び優勝、国体100mで2連覇といった立派な実績がございます。IH総合優勝の偉業を成し遂げて、すでに半世紀以上経過し、学校関係者のほとんどがこの栄光の事実すら知らないのが今の現状です。指導者として母校に戻ってきた私自身も、今回の原点回帰への振り返りをきっかけとし、高校日本一の実績を誇りに思い伝統に恥じないよう部員ともどもこれからも精進して参ります。

陸上競技部顧問 三上勝伸(35期)

声

大木 忠郎(英語)

九十三歳になりました。まだ、聖徳大学公開講座に週三回出講し、英文法、英会話ハーモニカなど四つのクラスを担当しています。松澤 妙子(英語)

二〇二三年は創立八十年

年とのこと。おめでとうございます! 榎谷 明(国語)

二、三ページをもう少し縮小して同窓生の情報、寄稿などを増やしてほしいかが。関 信夫(社会)

二〇二二年三月に非常勤講師が終り、四月からは無所属です。次年度非常勤の話があれば「再登板」の意思はありますが、今年度は増えた自由時間を活用しています。一九七八年度〜二〇二一年度に県立六校、私立一校(二〇二一年度の一年契約)で四十四年間社会科地理教員として勤務しました。その中で一九九〇年度〜二〇〇〇年度の国府台高校での十一年間が最長です。

二〇二二年十一月に一九九三年度卒業生の担当クラス七人とミニクラス会で会いました。四十七歳になった皆さんそれぞれに活躍。うれしかったです。長澤 ゆみ子(英語)

(現) 船橋芝山高校

長澤 淑夫(地歴)

(現) 市川昇高校

萩倉さん、がんばっています。

4年ぶりのにぎわい

第76回 鴻陵祭

二〇二三年九月九日・十日(土・日)、第七十六回鴻陵祭が開催されました。食品関係の取り扱いの一部を除いて制限のない「完全な」鴻陵祭となり、一般公開も行われました。

二〇二〇年の第七十三回

コロナ禍の影響により、この三年間、同窓会の展示参加も実施できませんでした。

二〇二二年の第七十四回鴻陵祭は急遽中止、二〇二一年の第七十四回鴻陵祭は三年生の演劇のみ校内行事として実施され非公開、昨年の第七十五回鴻陵祭では事前の抽選により入場が制限されました。

この三年間、同窓会の展示参加も実施できませんでした。

会場前廊下のモニターと室内のプロジェクターを利用した国府台高校の歴史を題材としたスライドショーの上映や同窓会会報を展示したほか、談話室として鴻陵祭を訪れた同窓会員たちの語らいの場となりました。

鴻陵祭で愛しました 2023



73期 (匿名)
自分の代は、クラス演劇ができなくて悲しかったのですが、今でも、クラス演劇の文化が続いてくれて嬉しいです！入学したのが国府台でよかったと思っています！
国府台高校のますますの発展をお祈りしております。



39期 大熊勝
久しぶりで泣きそうでした。

39期 大橋央
「風来坊」が引き継がれていて、ビックリ。同期の皆さん今年会いましょう。

39期 清水弘季

久しぶりに来校しました。校内を見てまわると、鴻陵祭も時代とともに少しずつ変わっているなと感じたところもあれば、以前と変わらないなと感じたところもありました。今年の通常開催に向けて様々な課題がありながらも、今やりたいこと、今できること、今しかできないことに一生懸命取り組まれたのだらうと思います。来年の鴻陵祭はまた新たな課題に直面するかもしれませんが、今年の結果も踏まえて、新たな挑戦をしていただければと思います。



14期 鈴木隆夫
久しぶりの会でお客様も多そうで結構！
パンフに校舎のプランを引出でどこを見に行くかすぐ判るようにするともっとOK？



35期 古川(小倉)典子
三上(小野)千秋
今年も来てみたよー♡



72期 川西浩嗣
深く考えずに楽しんでください。



75期 中島壮太
横山智紀
昨年卒業しました！



75期 伊達允
75期 篠崎遥介
自由な国府台の復活を！

75期 福永さくら
清水歩美
清水真奈美

私たちにとっては初めての完全体の文化祭だったので、とても楽しかったです！！



80周年おめでとうございます！！

57期 井上奈津子
十八代目風来坊だったのがもう参拾陸代目になってびっくりしました！若さのパワーをもらえて嬉しかったです！

59期 笹川(井上)七瀬
大学生の時に担任だった先生が移動された時に来た以来だったので、10年以上ぶりに訪れました。しかし、教室の感じ等ほぼ変わっていませんのでとても懐かしい気持ちになりました。



49期 黒田智史
47期 渋谷陽一
鈴木真人
文芸部でした！



69期 加藤輝一
高校卒業時は調理師学校へ行き、現在はゲームを作っています。進路なんてわからないものです。



34期 成毛淳雄
久しぶりに母校へきました。国府台駅から学校までこんなに遠かったのか…。年をとりました。



72期 組頭瞭太
西村健斗

70期 西村啓太郎
松本友花
今村真菜
今野清美
柴田真和



思い出

中村祐次先生を
偲んで

中村祐次先生が九十二歳で逝去されました。

祐次先生は国府台高校の一期生でもありましたから、体育教師として戻られても若々しく気さくで、日焼けした長身で生徒たちと校庭を走り回る姿は、親しい先輩兄貴という感じでした。

定年後の先生は国際交流のボランティアや日本



鴻陵祭で墨彩画の指導をされる先生

画にも精進して墨彩画の大作を毎年「市展」等で発表して、見事な腕前でした。

毎月欠かさぬ主要メンバーとして親しく過ごせた時間を嬉しく思い思っています。

私たちが卒業して中年になり、お互いの生活が安定したころ、国語教師だった香山登一先生が「久しく良き交友を育むには目的を持ちなさい。」

ただ会うだけでは飲み会で終わってしまう。私の俳句の講師を務めよう」と発足した俳句会でした。祐次先生は俳句を「墨東」と称して自然から自治問題、生活句と幅広い作風でした。ここに「中村墨東ミニ句集」として偲びます。

我参加東京五輪聖火運ぶ
教え子の訃報相次ぐ年の暮れ
常夜灯百五十回我八十路
布団まだ自分で干せる八十五
我乗せて底冷えの街救急車
人と違い人と別れて米寿暮

九期 田中愛子

お悔やみ

石本 剛先生【数学】



1951.5 ~1967.3 在職

父は、二〇二二年四月三十日に老衰のため死去しました。享年九十七。国府台高校は昭和二十六年頃から十六年間勤め、家の近くでもあったので思い入れがありました。石本 恵理(28)

勝 輝夫先生【社会】



1953.10 ~1965.3 在職

父勝輝夫が二〇二二年八月三十一日九十八才で永眠いたしました。(ご子息)

岡村 勝巨先生【社会】



1954.4 ~1960.3 在職

夫岡村勝巨は二〇二二年十一月三十日老衰で旅立ちました。九十三才でした。今までありがとうございました。岡村 克子(12)

中村 祐次先生【体育・1】

二〇二三年一月三日逝去。一期生として、また本



1955.6 ~1964.3 在職

校元教員として「ご意見番」的立場から同窓会の活動にご尽力いただきました。

澤田 大八郎さん【7】同窓会相談役・元会長



2001.5 ~2006.5 同窓会会長

業として成功に導くなど、本会・母校に多大な貢献をされました。

安藤(長谷川) 路代さん【5】

姉は二〇二二年五月三十日に身罷りました。とても淋しいです。色々とお世話になりました。感謝申し上げます。市川 澄子(9)

井桁 美樹子さん【5】

二〇二二年十二月十七日没。十五年ぶりに復刊された同窓会会報第16号(一九九七年発行)以降、広報委員として会報編集に尽力されました。

日暮(小川) 敏子さん【7】

二〇二二年九月十二日死去しました。(夫・春見)

お願い

千葉県立国府台高等学校同窓会(鴻陵会)
会長 流川 呉生(20期)

会員各位にはますますご活躍のことと存じます。

同窓会として会報の発行送付事業を継続し、母校支援を通じて母校の学習環境の充実に寄与できますことは、ひとえに会員各位の日頃のご支援の賜物と深く感謝申し上げます。今後とも会員各位のご意向に沿いつつ、同窓会活動の継続と更なる充実を図りたく、一層のご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

賛助金にご協力ください

◎払込先 郵便振替 00110-0-353380 国府台高校同窓会
鴻陵会専用払込票(赤色)の場合、手数料は同窓会負担です。

◎払込票には住所、氏名、ID番号(封筒の宛名シールに記載)を明記してください。※連名も可能です。

◎金額 1口 1,000円(何口でも結構です)

◎払込票の受領証を領収書とさせていただきます。

住所・氏名等に変更がありましたらお知らせください

◎届出方法
個人情報専用フォーム(右のQRコード)から



または
裏面(p11)の様式で変更届を鴻陵会連絡所宛に郵送

鴻陵会連絡所

〒272-0021 市川市八幡3-3-2-2402 高橋方
理事長 高橋亮平(47期)
TEL 080-6576-0504

*同窓会に関するお問い合わせ、ご意見・ご要望は、学校ではなく、
鴻陵会連絡所までお願いします。

大募集! 国府台のひとコマ

国府台での「決定的瞬間」「忘れられない出来事」など、お手元にあるとっておきの写真を募集します。80周年記念事業をはじめとして同窓会の刊行物・WEBページ等で使用します。撮影の日時・状況など簡単な説明を添えてお送りください。

送り先

・デジタル画像(jpg、png、pdf)
QRコードからメール



・紙媒体プリント
右欄「鴻陵会連絡所」宛郵送

※郵送された写真は返却できません。
紙写真等をスマホなどで撮影し、データをメールにてお送りください。

編集室

広報委員長 富坂 友(56期)
編集長 飯田幸治(35期)
委員 竹内喜忠(14期)
池田由紀子(20期)
柴田幸治(20期)
流川 呉生(20期)
榎本弘良(29期)
高橋亮平(47期)

吉村三男さん【19】

二〇一九年十一月十九日亡くなりました。いままでありがとうございました。(ご家族)

野崎(山口) 和子さん【18】

姉野崎和子は二〇一九年八月三十一日癌による闘病で亡くなりました。浦安市で長い間幼稚園園長として勤めてから退職していました。(兄)

細江美幸さん【11】

入学以来長らくお世話になりましたが、昨年暮れ永眠いたしました。有難うございました。(夫君)

増田紀久江さん【8】

二〇二二年十二月二十一日に永眠しました。永い間お世話になりました。(夫君)

謹んで哀悼の意を表します。